

湘南医療福祉専門学校にて就職ガイダンス

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木功順3等陸佐）は、2月26日（水）、湘南医療福祉専門学校（横浜市戸塚区）で開催された就職ガイダンスに参加した。

ガイダンスにはリクルートスーツを身にまとった救急救命科の2年生26名が出席し、自衛隊横須賀病院教育部救急救命士課程の教官2名から海上自衛隊衛生員の教育体系や勤務環境についての説明を受けた。特定の条件下で5つの緊急救命行為が実施できる「第一線救護衛生員」についての説明では、自衛隊にも救急救命士として活動できる職域があることを初めて知ったという声も聞かれ、参加者はメモを取りながら真剣に耳を傾けていた。

説明終了後にも、自衛隊の処遇改善に関する質問のほか、試験関連や職種等について具体的な質問が相次ぎ、広報官がそれぞれについて丁寧に対応した。

参加者からは、「教育体系がしっかり整備されている」「他の職場では体験できないことを経験できる」「手当等も充実している」など、自衛隊について好意的な感想が聞かれた。

上大岡募集案内所では、「今後も学校との連携を深め、多くの生徒や教職員に自衛隊の魅力を伝えていきたい」としている。



大学生が自衛隊の職場見学～海自厚木航空基地

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、3月7日（金）、管内の大学生22名に対し、海上自衛隊厚木航空基地の職場見学会を実施した。

現地では、海上自衛隊第4航空群の支援を受け、航空系、技術系、事務系等、海上自衛隊の10職種の勤務場所の見学と職務内容の説明を行った。過密スケジュールではあったが、参加者は各職場を熱心に見学し、「やりがいはあるか？」「大変なことは？」などと勤務について隊員に質問をする姿も見られた。

当日は金曜日だったため、昼食には海上自衛隊名物のカレーを体験喫食。緊張していた参加者も思わず笑顔になり、山盛りのカレーを美味しくそうに完食していた。

今回の見学会は、「職場」にスポットを当て、参加者に自衛隊の勤務を実際に見て、感じてもらうことを目的に行われたもので、参加者からは「事務関係の仕事の多さに驚いた」「その他の職場も見てみたい」との意見のほか、「試験の難易度は」「受験してみたがどうすればよいか」など、応募に関する具体的な質問もあった。

厚木募集案内所は、「今後も様々な見学会を企画し、より多くの学生に自衛隊の魅力を伝えていきたい」としている。

